

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		大久保駅前放課後等ディサービス	公表日		令和7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	国の指定基準を満たしたスペースを確保し、余分な物は置かないようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	現在利用者の状況に合わせて、1対1で対応が必要がある場合は業務の役割分担をして工夫しています。	個別の対応が必ず必要な利用者がいる場合は、職員配置を増やす必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	トイレ前スペースに工夫して置いています。	療育教材の置き場所の確保していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	3	・空調が効きにくいときは扇風機を回して対応しています。 ・床がはがれている場合はテープで修復しています。 ・ものの配置を工夫し、カリキュラムが行いやすいようにしています。	・空調がききにくいです。 ・床のごぼごやはがれの修復する必要があります。 ・床のごぼごこによる机のゆがみにより、室内運動のカリキュラム等が制限されるため、改善していく必要があります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	個別での対応が必要になった場合は、他施設のスペースを借りたり、踊り場のスペースを使ったりして対応しています。	個室にある療育教材を移動する必要があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	法人全体で半年に一度の業務改善の為のレポート提出があり、その中で議題が挙がった意見は検討、改善を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	年に一度保護者向け評価表を配布し、半年に一回の面談時にも保護者の意向を聞いています。	引き続き現状を維持していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	法人全体で半年に一度の業務改善の為のレポート提出があり、その中で議題が挙がった意見は検討、改善を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	現在は行っておりません。	必要に応じて、取り入れていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	法人全体研修の内容は各施設に持ち帰り、担当者から職員に周知しています。	全職員に研修の内容の周知徹底が必要です。感染症や虐待はもちろんのこと、子どもと関わる職業に初めて就く職員も多いので、利用者との関わり方などをテーマにした多くの研修の機会の設定したいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	前月にカリキュラム内容の計画を立てて、固定化しないように工夫しています。また、月に一度サニースайдにてプログラムを公表しています。	引き続き現状を維持していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	4	0	保護者との面談時に、前回の支援計画書に対しての振り返りを行い、現状を情報共有しています。その中で、新たな課題が出れば新しく目標設定を行い、支援計画を作成しています。	引き続き現状を維持していきます。
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	身辺自立、療育課題、コミュニケーション、各機関との連携についての目標設定を行っています。項目毎に利用者の課題と、課題に対しての支援内容を設定しています。	引き続き現状を維持していきます。
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	利用者の様子や支援内容については、記録を残し、計画に沿った支援が行えているか職員間で常に意見交換しながら振り返りを行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	支援計画と日々の子どもの行動観察を行い、施設内で記録を残しており、それに沿って子どもの状況を把握しています。	引き続き現状を維持していきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	年に2度保護者面談、利用者との面談を実施し、支援内容を振り返り、適切な支援内容に設定しています。	引き続き現状を維持していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	前月にプログラムの計画を立て、その日の利用者の特徴や状況に合わせて毎日の活動プログラムを考えています。また、利用者にカリキュラムのアンケートをとっており、利用者の声を基に職員のスキルアップに繋げています。	引き続き現状を維持していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	前月にプログラム内容の計画を立てて、固定化しないように工夫しています。また、その日の利用者の特徴と状況に合わせて療育内容を変更するなどし、職員間で意見を出し合い取り組んでいます。	引き続き現状を維持していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	毎月、一か月のプログラムの計画を作成しています。集団活動は毎日行い、個別療育も順番に行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	役割分担は基本的に固定していますが、職員に休暇があった場合は臨機応変に対応しています。また変更があった場合は、職員間で共通理解しています。	引き続き現状を維持していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日にあった出来事や、保護者からの伝達事項、利用者への支援内容については毎回記録を残しています。職員間でも話し合い、改善点や気づいた事など、意見を出し合っています。	引き続き現状を維持していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	利用者の様子や支援内容については、記録を残し、職員間で常に意見交換しながら振り返りを行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを行い、保護者から現状を確認して、必要に応じて支援内容や目標を見直しています。	引き続き現状を維持していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	4	0	「4つの基本活動」が満遍なくできるように前月にプログラムの計画を立案しています。	引き続き現状を維持していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	利用者支援するときは、本人が内容を選ぶように複数の選択肢を準備するなどして対応しています。	引き続き現状を維持していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者や支援員が出席し、支援内容の確認や方向性を話し合っています。	引き続き現状を維持していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	必要に応じて、連携しています。	引き続き現状を維持していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校との情報共有事項は、記録を残して適切な支援ができるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	利用者が高校生なので、就学前の情報については主に保護者から聞き取りを行っています。必要に応じて通っていた中学校から情報を得ています。	特に就学前の情報については、保護者から聞き取りを積極的に行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			卒業後の進路先との連携として、保護者の了承の基、支援内容を情報共有する事もできます。	引き続き現状を維持していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	担当職員が協議会へ参加しています。	担当職員以外の職員も積極的に協議会に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	年に一度秋祭りを開催し、地域間での交流を図っています。	秋祭り以外の地域間交流の方法について検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				

関係機関や保護者との連携	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	保護者との連絡ノートでのやりとりで、日頃から情報を共有できるようにしています。また、何かあれば電話やメールでその日の様子を伝え、共通理解できるように努めています。	引き続き現状を維持していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	保護者からの相談があれば、面談を行い、話し合いの場を設けています。また、保護者会後に保護者からの疑問点を挙げてもらい、解決策の案内を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	面談の時に、保護者と支援計画の内容を振り返りながら、十分な聞き取りを行い、説明しています。	引き続き現状を維持していきます。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	年に2度利用者、保護者と面談を行い、本人とご家庭の意向を確認する機会を設けています。	引き続き現状を維持していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談の時に、保護者と支援計画の内容を振り返りながら、十分な聞き取りを行い、説明しています。	引き続き現状を維持していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	日頃から必要に応じて保護者と個別に話をする時間を作り対応しています。保護者のお話をよく聞いて、その方の悩みにあった対応ができるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者会を行い、保護者同士の交流や情報交換ができるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった際には、職員ですぐに情報共有をし、相談をしてから対応するようにしています。また、改善策についても、利用者、保護者にお伝えするようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	月に一度サニーサイドを発行し、定期的にブログをHPにアップし、行事予定や利用者の様子を保護者に発信しています。	引き続き現状を維持していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報などが記載されているものは鍵をつけた場所に保管しており、施設外に持ち出さない事を徹底しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。	引き続き現状を維持していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	メールや電話、面談など様々な形で利用者の様子を保護者へ伝達していきます。	引き続き現状を維持していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	秋祭りを開催する際は、ポスターを掲示して地域の方も参加できるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各対策マニュアルを作成し、職員全員が周知しシミュレーション訓練を行っています。保護者には、避難場所、感染対策などお手紙で配布したり、メールで知らせるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	業務継続計画を策定し、それに合わせて避難訓練を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	施設の利用開始の際に保護者にお聞きして、記録しています。また、てんかん発作の利用者がおられる場合は施設でてんかんが起こった際の対応を、保護者と相談をしてその方に合わせたマニュアルを作成しています。	引き続き現状を維持していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	施設の利用開始の際に保護者にアレルギーについて確認をしています。調理のプログラムがある場合は改めて保護者の承認を得てから進めています。	引き続き現状を維持していきます。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を職員で周知し、研修を行っています。プログラムを進める上で、安全に配慮して職員の配置や役割分担を決めています。	引き続き現状を維持していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	利用者の様子を保護者にこまめに連絡し、必要に応じて施設でできる対応を保護者と相談しています。	引き続き現状を維持していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例集は施設にて作成しています。気になる事があれば、職員間で共有した上で、今後の対応を話し合い、細かく記録を残すようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待に関する研修を行い、職員間で周知徹底しています。また、職員間の風通しを良くし、普段の支援について意見を言い合える環境にしています。	引き続き現状を維持していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	現在、身体拘束が必要な利用者はいません。	引き続き現状を維持していきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	大久保駅前放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年8月8日		～	2024年8月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年8月8日		～	2024年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者の意思をお聞きするときは、安心して話せるよう別室を使用したり、「はい」「いいえ」で答えられる質問で進めたりとその方に合った方法で行っている。保護者に対しては電話やメール、サービス提供記録を通じて情報共有を行っている。	利用者の状況を複数の職員が目で見えて把握し、適切な意思の確認方法を考案していく。保護者のニーズに合わせて、電話とメールを使い分け情報共有を図っていく。また、利用者から相談を受けたり、変化に気づいたりしたときは、当日中に保護者連絡を入れることを徹底する。
2	同世代同士での関わりが多いこと	同世代の高校生がいる他の放課後等デイサービスと合同でレクリエーションを行い、交流を持つ機会を多く設定している。また、他の放課後等デイサービスと合同で秋祭りを開催し、設営や調理、接客等を通して同年代の仲間と何かを成し遂げる経験を積んでいただいている。	他の放課後等デイサービスとの交流の機会を持つことは継続させつつ、利用者の特性に応じたカリキュラムの内容の充実に努めたい。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果の発信	毎月サニーサイドを発行し、定期的にブログでも写真を交えながら情報発信を行っている。	サニーサイド、ブログの内容をより詳しいものにし、写真も充実させることによって、施設の様子が伝わりやすいようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設的环境や活動スペースについて	利用者は全員高校1年生から3年生の方ということで、体が大きい方も多く活動のスペースが狭く感じることもあるようである。また、床の凹凸について、怪我防止の観点では有効に働いているが、日々のカリキュラムが制限される場合もある。個別の対応が必要になったときの場所の確保も課題である。	施設の物品の整理整頓を行う。机の配置を工夫し、広いスペースで活動できるように工夫していく。床の凹凸がカリキュラムの妨げになるときは公園や別の場所にてカリキュラムを行う。個別の対応が必要になった場合は、同じビルの施設に協力してもらい、場所を提供していただく必要がある。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の提供について	日々のカリキュラムが施設の中で完結してしまっている。また、高校生ということもあり、近くにある他の放課後等デイサービスを利用する子どもたちと年齢が離れていて交流を持ちにくいことも要因だと考えられる。	地域との交流行事として、秋祭りを開催している。その際に地域の他の子どもたちにたくさん来ていただき、交流が持てるようにポスター等を使って宣伝をしていく。また、他の放課後等デイサービスの同年代の利用者に関しては、交流する機会を設定している。
3	保護者会等での保護者間交流とペアレントトレーニングについて	主に神戸市在住の利用者が多く利用しており、保護者も働いている方が多いので保護者会参加が難しいようである。ペアレントトレーニングに関しては、自力通所のため保護者と顔を合わせてお話する機会が少ないことが要因と思われる。	年に複数回の保護者会を設定していく。ペアレントトレーニングに関しては、実際にお会いしてお話する機会が少ない分、日頃から利用者の情報共通を電話、メール等を通して密に行っていく。また、年間スケジュールを配布し、保護者会の日程を周知する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	大久保駅前放課後等デイサービス
------	-----------------

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 16

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	1	1	参観に行ったときに、子どもの数と広さが見合っていないと感じた。	活動に応じて室内の配置を工夫し、活動に必要な広さを確保できるように努めています。施設内の整理整頓を徹底していき、施設の様子について保護者にも周知をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	2		職員配置について基準より多く配置しているという現状を維持し、保護者に周知していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	1	5		施設の構造上、バリアフリー化が難しいので、階段の上り下りの際の見守りの強化を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	3		施設の物品の整理整頓を行い、毎日丁寧な清掃を行います。施設的环境について保護者の方にお伝えしていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	1	1		職員間で利用者の特性や性格などの情報共有を徹底します。日常のご様子について保護者と情報共有をして適切な支援について相談していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	3		実施したプログラムを振り返り、支援内容として適切かどうか、検討し改善していきます。また、毎月のプログラムの内容を保護者にお伝えしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、面談等を通じて保護者との意見を共有し反映していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1		利用者と保護者に支援内容の説明を行い、不明な点を無くすよう改善していきます。報酬改定に伴った新しい支援計画の支援内容についても説明していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、利用者と保護者のニーズに合わせた計画を作成し、行った支援を振り返り検討していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	0	3		プログラムの振り返りを行い利用者と保護者の意見を取り入れて、活動プログラムが固定化しないようにしていきます。また、毎月プログラムの内容について保護者にお伝えしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	2	7		同世代の利用者同士で他施設との交流は行っていますが、現状地域の他のこどもと活動する機会は設けていません。今後、利用者の要望に応じて検討をしていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	2	0	1		施設見学時や契約時に契約書や施設の概要を示したファイルをお見せしながら丁寧に説明していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	2		疑問点が残らないよう、より一層丁寧な説明を心がけていきます。必要に応じてメールや電話等でも説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	4		定期的に保護者会やペアレントトレーニングを行い、保護者の疑問を解決していきます。また、保護者に年間のスケジュールをお伝えし、保護者会にお越し頂きやすいように配慮していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	1		日頃から保護者とサービス提供記録のやりとりを密に行い、必要に応じて電話やメールでも細かな情報共有の機会を持ちます。



保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0		定期的に面談の機会を持ち、より一層保護者のニーズや子育てに対する悩みをお聞きする機会を持ちます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	1		電話やメール、サービス提供記録では肯定的なやり取りを心掛け、ニーズに合った支援をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	0	4	平日は仕事なので参加したことがない。ひとり親目つフルタイム勤務、遠方からの来所で子供をとりまく環境が良く分かつ不安に思うこともあった。	保護者会に来られた際は利用者の様子がわかるように具体的にお伝えしていきます。また、年間スケジュールで保護者会の開催日をお伝えし、お仕事で来所しにくいご家庭にも配慮していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	2		相談を受けたときは職員間で情報共有をすぐに行い、チームで対応策について決定します。その対応の体制が整っていることを保護者にお伝えし、相談窓口の周知徹底も行います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	1	何かあればすぐに連絡をくださっている。	メールや電話、面談など様々な形で利用者の様子を保護者へ伝達していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	0		引き続き現状を維持します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、個人情報の取扱いについて保護者にお伝えしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、各種マニュアルについて保護者にお伝えしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	2		引き続き現状を維持した上で、避難訓練やその内容について保護者にお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、安全を確保するための計画について保護者にお伝えしていきます。また、置き去り防止システムの運用について保護者に周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2		緊急時対応マニュアルに沿った対応を心がけます。また、災害時伝言ダイヤル等の保護者の方にも参加していただける取り組みも続けていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	1	0		心地よく通所できるように、利用者とコミュニケーションをとり、保護者とは電話やメール、サービス提供記録を通してやり取りをし、ニーズを理解した適切な支援ができるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1	0		利用者が楽しみになるようなカリキュラムを編成します。月に一度利用者と振り返りを行い、利用者のニーズに合わせた支援が行えるようにします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0		引き続き現状を維持した上で、利用者、保護者、職員で支援の振り返りを行い、よりよい支援ができるようにしていきます。